

平成 27 年度第 1 回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開催日	平成 27 年 9 月 18 日 (金)
場所	ホテル白鳥 2 階 千鳥の間
出席委員	青山委員、伊藤委員、沖田委員、鳥谷委員、中谷委員、中村委員 (敬称略、五十音順)
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 支部長あいさつ</li> <li>2. 健診事業の実施状況【議題 1】</li> <li>3. 保健指導の実施状況【議題 2】</li> <li>4. 各種事業の展開 (その他の保健事業の実施状況)【議題 3】</li> <li>5. その他【議題 4】</li> </ol>
議事概要 (主な意見等)	<p>1. 支部長あいさつ</p> <p>7/10 に日本健康会議が発足した。メンバーは協会けんぽ理事長を含め、32 の民間組織と自治体で構成され、健康寿命延伸と医療費適正化等の取り組みについて協議されることとなる。ワーキンググループも設置され、2020 年度に 8 項目の目標達成を求められている。</p> <p>島根支部では、地域との関わりに重点を置き、健康づくり推進を強化していくために関係団体と連携協定の締結を進めている。昨年 8 月に県と、11/19 (予定) に県内 8 市と、6 月に三師会 (医師会・歯科医師会・薬剤師会) と、7 月に島根県国保連合会と協定を締結している。この協定により県民の 6 割の医療データの分析が可能となる。</p> <p>また、がん検診の受診率を向上させるため、生活習慣病予防健診受診促進をはじめ、自治体とのがん検診の共同実施の取り組みを始めている。</p> <p>次に、データヘルス計画 (閣議決定した日本再興戦略の一つ) においては、健康増進や重症化予防等を盛り込んだ内容で、協会けんぽも 27 年度から、第 1 期 (3 ヶ年計画) の初年度として本格稼働している。その中の方策として、事業所との協働取り組みがあり、日本健康会議の宣言にも関連するが、健康経営が重要視されている。即ち、「従業員の健康は事業経営上の重要な財産」というとらえ方が大切で、今後、事業経営者に対して、そうした観点への理解を深め、実践していただくよう取り組んでいきたい。</p> <p>協会けんぽの業務・システム刷新について</p>

資料1により説明

平成27年6月29日より新システムを導入したが、不安定なところと順調なところがある。加入者の方の利益に供するものであり、早く安定化させる必要がある。

また、新システム導入前の6/16に協会4台のパソコンに不審な通信があったことが判明し、当日のうちに、インターネット、メール等の外部通信を遮断しており、現在もその状態が続いている。サイバー攻撃のリスクを排除するために、システム強化を図っている。ご迷惑をおかけするがご協力をお願いしたい。

## 2. 健診事業の実施状況【課題1】

資料2により説明

[意見等]

- ・健診の受診率1位の支部は何%か。

【回答】

- ・65.1%で山形支部である。

[意見等]

- ・取り組み内容が分かればまた教えて欲しい。

[意見等]

・被扶養者の健診（特定健診）の受診率向上の取り組みで、市町村とのがん検診の同時実施とあるが進まない理由があるか。

【回答】

・被扶養者の健診は、特定健診とがん検診がセットになっておらず、特定健診は協会けんぽ、がん検診は市町村に実施義務がある。同時実施することでそれぞれの受診率の向上が見込まれるが、市町村によって温度差がある。先日、市町村役場の担当者と共済組合等の医療保険者の担当者が一堂に会し、意見交換会を行い、浜田市、雲南市とは同時実施する方向で話が進んだ。

・県西部は健診機関や医療機関が少なく、受けたくても受けられない人が多い。がん対策推進会議の中間評価の中でも機関拡充が課題とされている。

[意見等]

・新規適用事業所への受診勧奨において、大規模事業所でありながら受診しないというのはどういう理由か。

【回答】

・勧奨時期によっては、健診機関の予約が終了して受けてくても受けられないというケースがある。また、逆に、生活習慣病予防健診は項目が多いため、必須項目のみの事業者健診を希望

されるというケースもある。

[意見等]

・「健康経営」と言われるが、特に中小企業にとっては経営者の意識が大切である。健康保険委員を設置され、健康保険委員を対象とした研修会等も開催されているが、健康保険委員は総務担当者が担うことが多く、経営者まで届かない。経営者協議会や経営団体等と協力して、経営者の意識を高めることが大切である。

【回答】

・「健康経営」の概念が重要性を増している。健康経営を評価された事業所に対して、自治体の長が表彰を行っているところもある。鳥取支部では県と連携し、健康経営にかかるポイントがたまった事業所に知事表彰を行っている。鹿児島支部は、数年前から健康経営に取り組んでおり、支部管内で健康経営（従業員の健康を重視した会社経営）をステータスとしている事業所の就職希望者が増え、注目されている。

・日本健康会議のメンバーは幅広い構成となっており、ご提案のあったように経営者協議会等とも関わっていくことが大切であると思う。実効性が確認できるまで時間がかかると思うが、地道な取り組みが必要である。

[意見等]

・集団健診について、市町村合併前の「旧松江市・鹿島町」の受診率が低いが何か原因があるか。

【回答】

・当該地域は前年度（25年度）に集団健診の案内をしており、25年度受診した方については、26年度の対象者から除外したため、受診行動に結びつきやすい方が減ったのが原因と考えている。

### 3. 保健指導の実施状況【議題2】

資料3により説明

[意見等]

・特定保健指導の該当者について、島根支部において特徴的なものはあるか。

【回答】

- ・糖代謝リスクが高い。ただし、糖尿病の医療費は高くない。
- ・血圧のリスクは、全国に比して高くはない。

[意見等]

・システム刷新後に「はらすまダイエット」（ITツール）による支援が不可となっているとのことだが、どのように対応しているか。

**【回答】**

・ITツールを使わない支援方法（手紙や電話）で支援している。支援対象者の方はITツールを引き続き使用できる。協会けんぽはネット通信を遮断しており、対象の方が入力された体重等の内容が見られないため、ITツールでの支援が不可となっている状態である。

**4. 各種事業の展開（その他の保健事業の実施状況）【議題3】**

資料4により説明

[意見等]

・データヘルス計画の中のコラボヘルス（事業主等の健康づくり意識の熟成を目指した取組）に該当するような取り組みはあるか。

**【回答】**

・「事業所まるごと対話事業」が該当する。

[意見等]

・対象事業所の選定の優先順位はあるか。

**【回答】**

・今まで、事業所の平均医療費、健診受診率等のデータをもとに対話を行っていたが、もっと深い内容（糖代謝リスク、血圧リスク）のデータを分析することとし、糖代謝リスクの高い「その他の運輸業（バス・タクシー）」を優先することとしている。

[意見等]

・未治療の方に受診勧奨をしているということだが、協会けんぽの特定保健指導対象者でHbA1cの値が10%（NGSP値）という方とお会いしたことがある。勧奨対象となるHbA1cの基準値はいくらか。

**【回答】**

・一次勧奨対象の基準値は6.5%以上、二次勧奨は8.4%以上である。

[意見等]

・早い段階で勧奨はされているが、受診したくても仕事で病院に行けないという方達がいる。

**【回答】**

・勧奨対象者の中には、特定保健指導に該当する方もおられ、併せて病院への受診を勧めている。こまめに連絡が取れ、寄り添った対応ができるので、受診にも繋がっている。

[意見等]

・喫煙セミナーには、当事業所からも喫煙者が参加し、好評であった。良い取り組みであると思うので継続的に行って欲しい。

・喫煙セミナーは郡部の方でも17:00以降に開催するよう検討して欲しい。

[意見等]

- ・心の健康づくりセミナーも好評である。

【回答】

- ・県の東部以外でも実施していきたい。

[意見等]

- ・重複受診について、データヘルス計画と併せて取り組んでいる支部があるか。

【回答】

・重複受診者（多受診者）については、本部で一月にレセプトが 20 枚以上ある者について抽出し、全ての支部で調査を行うこととしている。島根支部には現在、2 名の該当者がおり、1 名は入院中、1 名は状況が解消されていない。精神疾患者であることが多い。

[意見等]

- ・メンタルヘルス出前講座等が効果的な取り組みではないか。

【回答】

・こういったケースの方は、接触の方法が難しく、専門職等と相談しながら個別対応することが肝要と思われる。

[意見等]

・サイバー攻撃等に対して、個人情報保護、コンプライアンス遵守も含めてどのように対処することとしているか。

【回答】

・協会けんぽのオンラインシステムについては、独立したシステムを構築している。ネット等の外部との通信は別のパソコンで実施することになると思われる。システムが完全に整うまで時間がかかると想定される。

[意見等]

・システム上安全な対策をとっても、情報漏洩等は人為的ミスによるところも大きい。個人が認識を持って取り組むべきである。

【回答】

・年金機構の個人情報漏洩問題が発生したタイミングと協会けんぽのシステム刷新のタイミングが重なり、リスク回避のため、旧システムの端末データを一切引き継がないこととした。よって、協会けんぽの現システムはリスクの無い環境と言える。言われるように、システム上安全であっても職員の意識が大切である。コンプライアンス遵守に努め、個人情報保護、セキュリティ体制の強化を図っていく所存である。

特記事項

